

口頭発表

口頭発表1 オピオイドに関する症例報告 4題

10月4日(土) 9:15-10:15 第5会場(愛媛県民文化会館 3F 第6会議室)

座長: 池田 龍二(鹿児島大学 医学部・歯学部附属病院 薬剤部)
泉谷 悟(広島大学病院 薬剤部)

01-1 モルヒネによるOddi括約筋収縮から胆汁うっ滞を生じたと考えられる1例

○矢野 琢也¹⁾、星加 寿子¹⁾、福岡 竜逸¹⁾、上野 智美¹⁾、武田 靖志²⁾、松村 周治³⁾、
二宮 崇⁴⁾、亀井 治人⁴⁾
住友別子病院 薬剤部¹⁾、住友別子病院 耳鼻咽喉科²⁾、住友別子病院 消化器内科³⁾、
住友別子病院 腫瘍内科⁴⁾

01-2 フェンタニル貼付剤からメサドンへのオピオイドスイッチングが有効であった一症例

○近藤 有¹⁾、植松 夏子¹⁾、今井 絵理¹⁾、田中 沙耶¹⁾、柴原 弘明^{2,3)}、吉田 厚志¹⁾
JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 薬剤部¹⁾、JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 緩和ケア科²⁾、
おかもとクリニック³⁾

01-3 高用量のオキシコドン、フェンタニルによって疼痛緩和できた症例

○森 正徳、末吉 栄志、山室 路子、横山亜希子、田中 泉、喜多岡洋樹、後藤由起子、
吉田 愛、永田 理恵、近藤 元三
熊本市立熊本市市民病院 薬剤課

01-4 メサドン塩酸塩錠のタイトレーション期にモルヒネ塩酸塩注を併用した一例

○堀 麻衣¹⁾、牛島 美里¹⁾、近谷 仁志¹⁾、里 幸¹⁾、河井 俊²⁾、緒方 泉²⁾、
仁木美枝子²⁾、岩佐 美佳²⁾、蓮池 典明²⁾
医療法人薫風会 佐野病院 診療技術部 薬局¹⁾、
医療法人薫風会 佐野病院 緩和ケアサポートチーム²⁾

口頭発表2 在宅緩和ケアにおける症例報告および医薬品適正使用の推進 6題

10月4日(土) 9:15-10:45 第6会場(愛媛県民文化会館 3F 第8会議室)

座長: 稲葉 一郎(薬局セントラルファーマシー長嶺)
竹内 尚子(トライアドジャパン(株)かもめ薬局北里健康館)

02-1 疼痛コントロールの重要な要素アドヒアランス ～残薬の多い患者の予測できなかった背景～

○秋山 理恵¹⁾、徳永 素子²⁾、永田 智子³⁾、立松三千子^{4,5)}
三聖堂薬局 自由ヶ丘店¹⁾、津島市民病院 薬剤室²⁾、
愛知県がんセンター中央病院 外来看護部³⁾、愛知県がんセンター中央病院 薬剤部⁴⁾、
名城大学大学院薬学研究科⁵⁾

02-2 在宅における前立腺がん患者のADL向上が得られた緩和ケア支援

○相宮 幸典、杉浦 伸哉、岡田 啓、植田 恵子、中島 広貴、指宿 城、糸川 知沙
株式会社 スギ薬局

02-3 在宅緩和ケアに携わる薬剤師が患者の暮らしを支えるために果たすべき役割について

○斎藤 優子¹⁾、中村 治正²⁾
(株)大新堂 フタツカ薬局 在宅支援室¹⁾、なかむらクリニック²⁾

02-4 在宅がん終末期患者のせん妄に対する保険薬局薬剤師の支援

○餅原 弘樹、醍醐 智子、秦野 和樹、平野 統久、杉浦 伸哉
株式会社 スギ薬局

02-5 薬剤師の居宅療養指導を拒否した症例に対する緩和ケア支援

○竹原 祐子^{1,5)}、山中 豊太²⁾、須田 勝久³⁾、深田恵美子⁴⁾、太田 義穂⁵⁾、山本 恵美⁵⁾、
藤井 伸昌⁵⁾、吉原 直希⁵⁾、山本 智永⁵⁾、谷口 誉子⁵⁾、二宮 洋一⁵⁾
スギ薬局 井田店¹⁾、山中クリニック²⁾、須田クリニック³⁾、
訪問看護ステーション さくらの里⁴⁾、岡崎在宅・介護委員会⁵⁾

02-6 持続注入計算エクセルシートを用いた共同薬物治療管理

○宇野 達也、柴田 賢三
ヤナセ薬局 在宅医療部

口頭発表 3 オピオイドの使用状況調査 3 題

10月4日(土) 10:15-11:00 第5会場(愛媛県民文化会館 3F 第6会議室)

座長：川出 義浩(名古屋市立大学大学院 薬学研究科 医療機能薬学専攻病院薬剤学分野)
内田まよこ(九州大学病院 薬剤部)

03-1 当院でのメサペイン[®]錠の使用状況と効果・副作用について

○橋本 百世¹⁾、正置 耕一¹⁾、近藤万友美¹⁾、森田 聡子¹⁾、松田 良信²⁾、辻 隆志¹⁾
宝塚市立病院 薬剤部¹⁾、緩和ケア内科²⁾

03-2 当院におけるオキシコドン注射液の使用状況に関する調査 - オキシコドン注射液へのオピオイドローテーション -

○郷治 久美¹⁾、高島 直樹¹⁾、深津 昌弘¹⁾、山本 磨理¹⁾、水元 弥生²⁾、成瀬 和仁²⁾、
稲垣 和美²⁾、大河内 治³⁾、澤田 憲朗⁴⁾、太田 美雪⁵⁾、鷹見 繁宏¹⁾
公立陶生病院 薬剤部¹⁾、公立陶生病院 緩和ケアセンター²⁾、公立陶生病院 外科³⁾、
公立陶生病院 緩和ケア内科⁴⁾、公立陶生病院 神経精神科⁵⁾

03-3 新しい視点からの薬剤師主導オピオイド処方監査：WHO ガイドライン処方の原則を普及啓発させるために

○久田 純生¹⁾、増田 由樹¹⁾、長谷川 徹²⁾、吉本 鉄介³⁾、伊藤 和幸¹⁾、磯谷 聡¹⁾
独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 薬剤部¹⁾、
独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 看護部²⁾、
独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 緩和支援治療科³⁾

口頭発表 4 緩和ケア外来 3 題

10月4日(土) 10:45-11:30 第6会場(愛媛県県民文化会館 3F 第8会議室)

座長：篠 道弘(静岡県立静岡がんセンター 薬剤部)
佐藤 淳也(岩手医科大学附属病院 薬剤部)

04-1 緩和ケア外来における薬剤師の介入とその評価(第2報)

○稲角 利彦¹⁾、薩摩由香里¹⁾、左近 絢子¹⁾、金剛 圭佑⁴⁾、大音三枝子¹⁾、北田 徳昭¹⁾、
梅田 節子²⁾、李 美於³⁾、橋田 亨¹⁾

神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部¹⁾、神戸市立医療センター中央市民病院 看護部²⁾、
神戸市立医療センター中央市民病院 緩和ケア内科³⁾、神戸低侵襲がん医療センター 薬剤部⁴⁾

04-2 緩和ケアチーム薬剤師の緩和ケア外来同席の有用性

○根岸美由紀^{1,2)}、小暮三千代²⁾、内田 宜伯^{1,2)}、小杉 成樹²⁾、増茂 仁²⁾、
馬場 章²⁾、麻生 一郎¹⁾、伊藤 博²⁾

深谷赤十字病院 薬剤部¹⁾、深谷赤十字病院 緩和ケアチーム²⁾

04-3 緩和ケア外来において薬・薬連携が服薬アドヒアランス改善に有用であった1例

○奥田 泰考¹⁾、本田 泰斗²⁾、荒川 昌史¹⁾、須藤 俊明¹⁾

自治医科大学附属病院 薬剤部¹⁾、フレンド薬局 自治医大東店²⁾

口頭発表 5 オピオイドの痛みの評価および適正使用の推進 5 題

10月4日(土) 11:00-12:15 第5会場(愛媛県県民文化会館 3F 第6会議室)

座長：芝崎由美子(埼玉県立がんセンター 薬剤部)
嶋 元(しま薬局)

05-1 神経障害性疼痛に対するメサドン塩酸塩錠の有効性に関する後方視的検討

○杉山 洋介^{1,3)}、近藤 勝弘¹⁾、手崎 世織¹⁾、竹本 将士¹⁾、川出 義浩⁶⁾、鬼塚 真美^{2,3)}、
坂本 宣弘^{3,4)}、木村 和哲^{1,5,6)}

名古屋市立大学病院 薬剤部¹⁾、名古屋市立大学病院 看護部²⁾、

名古屋市立大学病院 緩和ケア部³⁾、名古屋市立大学病院 消化器一般外科⁴⁾、

名古屋市立大学 医学部 臨床薬剤学⁵⁾、名古屋市立大学 薬学部 病院薬剤学⁶⁾

05-2 オキシコンチン[®] からフェントス[®] へのオピオイドローテーションにおける初回増量までの期間に影響を与える要因の検討

○井手野下裕子、森川 記道、横山 匠太、福長 豊己、原田 靖子、西原 昌幸
マツダ株式会社 マツダ病院 薬剤部

05-3 簡便な換算比を用いたオキシコドン注射剤のオピオイド・スイッチングに関する臨床的検討

○宮原 強^{1,3)}、小杉 寿文^{2,3)}、仁田 亜由美⁴⁾、八谷 由紀^{1,3)}、日浦 あつ子³⁾、
森 直美³⁾、松永 尚^{1,3)}

佐賀県医療センター 好生館 薬剤部¹⁾、同 緩和ケア科²⁾、同 緩和ケアチーム³⁾、
大分県済生会 日田病院 麻酔科⁴⁾

05-4 在宅緩和ケアにおける他職種連携の中で取り組む疼痛評価と意識調査

○小林 篤史、池上 摩弥、武田紗代子
ゆう薬局グループ

05-5 オピオイド換算ソフトの作成と作成後の評価

○須藤 弥生、品川 理加、猿井 智美、土屋 道代、前島 和俊
前橋赤十字病院 薬剤部

口頭発表 6 地域連携推進に向けた取り組み 3 題

10月4日(土) 11:30-12:15 第6会場(愛媛県県民文化会館 3F 第8会議室)

座長: 高瀬 久光(北陸大学 薬学部臨床薬学教育センター)
千原 里美(市立伊丹病院 薬剤部)

06-1 地域緩和ケアチームとの薬・薬連携による取り組み～緩和薬物療法認定薬剤師が行う支援を通して～

○枝廣 茂樹¹⁾、小林 星太²⁾、松波 寿雄¹⁾、大川 浩子¹⁾
金沢赤十字病院 薬剤部¹⁾、とくひさ中央薬局²⁾

06-2 骨修飾薬関連顎骨壊死対策のためのお薬手帳を介した開業歯科医との情報共有

○石塚 友一¹⁾、福永 暁子²⁾、川村 和美¹⁾、塩川 満¹⁾
聖隷浜松病院 薬剤部¹⁾、聖隷浜松病院 歯科²⁾

06-3 薬剤師サマリー作成の試み

○齋藤 俊子、三浦 誠
洛和会音羽病院 薬剤部

口頭発表 7 オピオイド適正使用推進による医療安全の推進 5 題

10月4日(土) 13:45-15:00 第5会場(愛媛県県民文化会館 3F 第6会議室)

座長: 高橋浩二郎(北九州総合病院)
竹内 信人(市立宇和島病院 薬局)

07-1 メサドンの適正・安全使用に向けた PCT 薬剤師の取り組み

○小川 智子^{1,2)}、松田 能宜^{2,4)}、武田 ヒサ^{2,3)}、小杉 孝子^{2,4)}、谷本 陽子^{1,2)}、
古川 順章^{1,2)}、小林 勝昭¹⁾、所 昭宏^{2,4)}
国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 薬剤科¹⁾、
国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 支持・緩和療法チーム²⁾、
国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 看護部³⁾、
国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 心療内科⁴⁾

07-2 フェンタニル速放性製剤適正使用における緩和ケアチーム・薬剤師の取り組み

○津田 尚始^{1,2)}、徳丸 歩子^{1,2)}、利根川小春¹⁾、金 明俊¹⁾、黒須 智博¹⁾、
立石 朝子^{1,2)}、永嶋 一貴¹⁾、小島 彩子²⁾、戸田 陽子²⁾、有岡 仁³⁾、松田 俊之¹⁾
労働者健康福祉機構 横浜労災病院 薬剤部¹⁾、
労働者健康福祉機構 横浜労災病院 緩和ケアチーム²⁾、
労働者健康福祉機構 横浜労災病院 腫瘍センター³⁾

07-3 シリンジポンプ早送りを用いたオピオイドレスキューの院内指示統一化前後の運用状況の比較検討

○曾根 敦子^{1,2)}、齋藤 雄紀^{2,3)}、吉野 和穂^{2,4)}、矢野 広^{2,5)}、長島 聖子^{2,6)}、
堂園 幸子⁶⁾、徳田 裕³⁾
東海大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾、東海大学医学部附属病院 緩和ケアチーム²⁾、
東海大学医学部 外科学系 乳腺内分泌外科学³⁾、東海大学医学部 外科学系 呼吸器外科学⁴⁾、
東海大学医学部 専門診療学系 精神科学⁵⁾、東海大学医学部附属病院 看護部⁶⁾

07-4 当院におけるフェンタニルクエン酸塩速放性製剤の適正使用に向けた取り組み

○林 隼輔¹⁾、須田 奈美¹⁾、横田 信幸¹⁾、川久保 孝¹⁾、下山 直人²⁾
東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部¹⁾、東京慈恵会医科大学大学院緩和医療学²⁾

07-5 オピオイド注射剤の処方量固定による医療安全への影響

○荒川 大輔¹⁾、西脇 敦士¹⁾、國枝ひとみ¹⁾、澤井 朝子¹⁾、小園 典子²⁾、
五十川有紀子²⁾、春日井敏夫³⁾、野田 孝夫¹⁾
蘇西厚生会 松波総合病院 薬剤部¹⁾、蘇西厚生会 松波総合病院 看護部²⁾、蘇西厚生会 松
波総合病院 呼吸器外科³⁾

口頭発表 8 緩和ケアチームにおける活動報告 7 題

10月4日(土) 13:45-15:30 第6会場(愛媛県県民文化会館 3F 第8会議室)

座長：松永 尚(地方(独)佐賀県医療センター好生館)
飛鷹 範明(愛媛大学 医学部附属病院 薬剤部)

08-1 オピオイド使用患者に対する外来服薬支援による再指導の有用性

○井原 将太、栗田 浩文、上條史帆里、近藤 水生、野澤 孝子、多賀 麻衣、万塩 裕之、
中村 和行、米山 英二、勝見 章男
安城更生病院 薬剤部

08-2 外来通院化学療法患者に対する臨床心理士の効果的介入支援

○木村 緑、高木 綾、藤巻奈緒美、中村 和代、中條 倫成、遠藤 一美、多久 佳成、
江藤 尚
静岡県立総合病院 がん診療部 化学療法センター

08-3 緩和ケアにおける薬剤師の薬学的介入と問診の重要性について —精神科病院における緩和ケ アチーム結成・身体合併症の症例から—

○山村康比古、寺口 勝久、小黒 夏子、川瀬 公一、與田美穂子、中村 陽子、櫻山 智子、
井戸澤弘美、伊藤 信、灘谷 聡昭
東京都立松沢病院

08-4 当院におけるフェンタニル貼付剤使用状況と緩和ケアチームの関わり

○酒向あずみ¹⁾、吉岡 由佳³⁾、渡邊 温子²⁾、吉田 誠也¹⁾
独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター 薬剤科¹⁾、
独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター 小児科²⁾、
独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター 看護課³⁾

08-5 緩和ケアチームのあるべき姿 —チームの和と行動力で平等な緩和ケアを—

○相澤 康子^{1,6)}、岸川 美輪^{2,6)}、新倉 菊代^{2,6)}、赤松 芳行^{4,6)}、山崎 史織^{2,6)}、
倉田久美子^{1,6)}、磯島 大輔^{5,6)}、長嶺弘太郎^{5,6)}、亀田久仁郎^{5,6)}、須藤 法子^{2,6)}、
南 みゆき^{2,6)}
横須賀市立市民病院 薬剤部¹⁾、横須賀市立市民病院 看護部²⁾、
横須賀市立市民病院 栄養管理科³⁾、横須賀市立市民病院 放射線技術科⁴⁾、
横須賀市立市民病院 医局⁵⁾、横須賀市立市民病院 緩和ケアチーム⁶⁾

08-6 地域病院における緩和ケアチームの2年間の活動報告

○伊藤 剛貴¹⁾、松本 千明¹⁾、飯田 麻衣¹⁾、伊藤 達哉³⁾、黒川奈美子³⁾、内田 栄美⁵⁾、
田中美代子²⁾、松永 和子¹⁾、井坂 茂夫⁴⁾
JA 埼玉県厚生連 久喜総合病院 薬剤部¹⁾、JA 埼玉県厚生連 久喜総合病院 看護部²⁾、
JA 埼玉県厚生連 久喜総合病院 医療技術部³⁾、JA 埼玉県厚生連 久喜総合病院 泌尿器科⁴⁾、
JA 埼玉県厚生連 久喜総合病院 地域医療部⁵⁾

08-7 当院における「オピオイド回診」の取り組みとその評価

○立原 茂樹¹⁾、谷中 敦美¹⁾、鯉沼とも子²⁾、池田美智子²⁾、藤澤 文絵³⁾、三橋 彰一³⁾、
黒澤 豊彦¹⁾、武井 敬司¹⁾
茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 薬剤局薬剤科¹⁾、
茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 看護局²⁾、
茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 腫瘍内科³⁾

口頭発表 9 オピオイドによる有害事象 4 題

10月4日(土) 15:00-16:00 第5会場(愛媛県民文化会館 3F 第6会議室)

座長：葛巻 直子(星薬科大学 薬理学教室)
宮崎 百合(横浜市立みなと赤十字病院 薬剤部)

09-1 モルヒネ誘発性便秘症の発症機序における大腸 aqaporin-3 の役割

○今 理紗子、五十嵐信智、三村 綾子、飯笹 朋彦、早川 晃央、羽賀 裕介、笛木 愛華、
落合 和、杉山 清
星薬科大学 薬動学教室

09-2 オキシコドン徐放錠誘発性悪心・嘔吐に対する予防的制吐剤の使用状況とその効果

○久米 初枝¹⁾、宮崎 雅之¹⁾、加藤 博史¹⁾、前田 愛¹⁾、十九浦宏明²⁾、杉下美保子²⁾、
安藤 雄一²⁾、山田 清文¹⁾
名古屋大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾、名古屋大学医学部附属病院 化学療法部²⁾

09-3 麻薬使用患者における点滴の自己抜去とせん妄との関連についての検討

○日比 聡¹⁾、長尾 清治^{5,6)}、伊奈 研次^{4,6)}、壁谷めぐみ^{1,6)}、長岡 雅敏^{1,6)}、
新木智映子¹⁾、古賀 千晶^{2,6)}、杉山あけみ⁶⁾、松浦三恵子³⁾、湯浅 周^{1,6)}
名古屋記念病院 薬剤部¹⁾、同看護部²⁾、同医療安全管理部³⁾、同化学療法内科⁴⁾、
同緩和療法科⁵⁾、同緩和ケアチーム⁶⁾

09-4 オピオイド開始後における制吐剤の適正使用の推進

○品川 理加、須藤 弥生、猿井 智美、前島 和俊
前橋赤十字病院 薬剤部

口頭発表 10 緩和ケア教育の推進その他 6 題

10月4日(土) 15:30-17:00 第6会場(愛媛県民文化会館 3F 第8会議室)

座長：井手口直子(帝京平成大学 薬学部)
岩根 裕紀(京都桂病院 薬剤科)

010-1 地域の薬剤師が早期から緩和ケアに係るために ― はじめの一步

○隅田 美紀¹⁾、秋田 浩子²⁾、長谷部千夏³⁾、永治正太郎⁴⁾、鈴木 昇一⁵⁾、曾我 望⁵⁾、
山田 秀樹⁶⁾、山本 有人⁶⁾
中津川市民病院 薬剤部¹⁾、東濃厚生病院 薬剤科²⁾、岐阜県立多治見病院 薬剤部³⁾、
市立恵那病院 薬剤室⁴⁾、岐阜県恵中薬剤師会⁵⁾、岐阜県東濃薬剤師会⁶⁾

010-2 在宅医療における無菌調剤の環境整備に向けての第一歩

○徳山 洋子¹⁾、切土 聡子¹⁾、大森 清孝¹⁾、清水 義博²⁾、小林 篤史³⁾、大町佐千美⁴⁾
社会医療法人岡本病院(財団) 第二岡本総合病院 薬剤部¹⁾、同、外科²⁾、ゆう薬局グループ³⁾、
城南薬剤会 会長 びわ薬局⁴⁾

010-3 がん疼痛の薬物療法に関する医療従事者の理解度と補助ツールの満足度に関する調査

○後藤 祐美、鈴木 宣雄、木村美智男、西川 智子、竹田 亜子、吉村 知哲、森 博美
大垣市民病院 薬剤部

010-4 緩和ケア病棟における看護師への教育～薬剤師によるミニレクチャーを通して～

○前川 ゆか¹⁾、二村 昭彦¹⁾、上葛 義浩¹⁾、伊東 知美¹⁾、最上 恵子¹⁾、吉岡 京子¹⁾、
菊川 栄子²⁾
藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 医療技術部 薬剤課¹⁾、
藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 看護部²⁾

010-5 緩和医療教育の実践を通して見えたこと、考えたこと

○串田 一樹¹⁾、前田 桂吾²⁾、白石 丈也³⁾
昭和薬科大学医薬情報評価教育申田研究室¹⁾、フロンティア薬局²⁾、けや木薬局³⁾

010-6 抗がん剤治療及び医療用麻薬に関する薬剤師への期待～がん患者のためのチャリティイベントでのアンケート調査より～

○滝澤 康志¹⁾、西澤さとみ¹⁾、花岡 容子²⁾、清野 義一²⁾、田中 健二³⁾、萬谷摩美子⁴⁾
日本赤十字社 飯山赤十字病院 薬剤部¹⁾、JA 北信病院 薬剤部²⁾、
長野県立須坂病院 薬剤科³⁾、愛和病院 薬剤部⁴⁾

口頭発表11 痛みおよびがんの基礎研究 5 題

10月4日(土) 15:45-17:00 第2会場(愛媛県県民文化会館 1F サブホール)

座長：小野 秀樹(武蔵野大学 薬学部)

佐藤健太郎(大阪薬科大学 臨床実践薬学教育研究室)

011-1 不完全な除痛が引き起こす痛みの増悪化の解析：初期除痛や突発痛除痛の重要性和“痛みの細胞記憶”

○大井 香織¹⁾、池上 大悟¹⁾、八重樫香菜子¹⁾、成田 道子¹⁾、葛巻 直子¹⁾、
岡野 栄之²⁾、牛島 俊和³⁾、成田 年^{1,4)}
星薬科大学 薬理学教室¹⁾、慶応義塾大学 医学部 生理学教室²⁾、
国立がん研究センター研究所 エピゲノム解析分野³⁾、
星薬科大学 先端生命科学研究センター⁴⁾

011-2 快情動ネットワークの活性化による疼痛制御機構の解析：中脳辺縁 dopamine 神経系の人工的制御による除痛効果

○須原 佑樹¹⁾、渡邊 萌¹⁾、山下 哲¹⁾、池上 大悟¹⁾、葛巻 直子¹⁾、成田 道子¹⁾、
成田 年^{1,2)}
星薬科大学 薬理学教室¹⁾、先端生命科学研究センター(L-StaR)²⁾

011-3 オピオイドの効率的な中枢移行に寄与するコンパニオンドラッグの探索を指向したトランスポーター制御化合物予測モデルの構築

○福島 大介、植沢 芳広、加賀谷 肇
明治薬科大学 臨床薬剤学教室

011-4 脳によるがん免疫調節機構：症状悪化の一因となる“視床下部オピオイド神経系”の機能低下

○田崎 慶彦^{1,3)}、森田 加奈¹⁾、有馬 崇充¹⁾、成田 道子¹⁾、池上 大悟¹⁾、山下 哲¹⁾、
青木 一教³⁾、成田 年^{1,2)}
星薬科大学 薬理学教室¹⁾、先端生命科学研究センター²⁾、
国立がん研究セ・研・遺伝子免疫細胞医学研究分野³⁾

011-5 抗がん剤耐性獲得に伴うがん増悪化メカニズムの解析：ゲフィチニブ耐性ヒト非小細胞肺癌細胞のエピゲノム異常を伴った上皮間葉転換

○志村 絵理¹⁾、成田 道子¹⁾、濱田 祐輔¹⁾、池上 大悟¹⁾、葛巻 直子¹⁾、成田 年^{1,2)}
星薬科大学 薬理学教室¹⁾、先端生命科学研究センター (L-StaR)²⁾

口頭発表12 薬物動態および薬物相互作用 3題

10月4日(土) 15:45-16:30 第7会場(看護研修センター 2F 大研修室)

座長：末丸 克矢(就実大学 薬学科)
森 理保(徳島市民病院 薬剤部)

012-1 モルヒネの体内動態に及ぼす摂食制限の影響

○橋本 緑、丸山紗也香、原 裕一、杉野 雅浩、細谷 治、従二 和彦
城西大学 薬学部 薬学科

012-2 トラマドール・アセトアミノフェン配合錠におけるCYP2D6阻害作用をもつ薬剤の影響

○小澤 康久¹⁾、権藤 学司²⁾、田中 江里³⁾、田中 正史⁴⁾、巽 一郎⁵⁾、北川 泉⁶⁾、
大竹 剛靖⁷⁾、山下 理絵⁸⁾、下山 ライ⁹⁾、仲鉢 英夫¹⁾
沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院 薬剤部¹⁾、湘南鎌倉総合病院 脳神経外科²⁾、
湘南鎌倉総合病院 血液内科³⁾、湘南鎌倉総合病院 心臓血管外科⁴⁾、
湘南鎌倉総合病院 人工関節センター⁵⁾、湘南鎌倉総合病院 総合内科⁶⁾、
湘南鎌倉総合病院 腎免疫血管内科⁷⁾、湘南鎌倉総合病院 形成外科・美容外科⁸⁾、
湘南鎌倉総合病院 外科⁹⁾

012-3 薬剤師によるオピオイド使用患者にCYP阻害・誘導薬剤が追加された際の注意喚起システムの構築

○高野 陽平^{1,2)}、田口 宏一¹⁾、横山 朝子^{1,2)}、平井 まな²⁾、小嶋 希望²⁾、
及川 佑介¹⁾、森井 佳奈¹⁾、野々宮ゆかり¹⁾、岡元己富美¹⁾、森 佳子¹⁾、上野 英文²⁾
砂川市立病院 緩和ケアチーム¹⁾、砂川市立病院 薬剤部²⁾

口頭発表13 がん治療および支持療法 3題

10月4日(土) 15:45-16:45 第8会場(身体障害者福祉センター 2F 大会議室)

座長：中村 益美(埼玉県立がんセンター)
小暮 友毅(四国がんセンター 薬剤科)

013-1 腫瘍血管新生に対するオピオイドの役割： κ オピオイド受容体作動薬の腫瘍血管新生阻害薬としての可能性

○濱田 祐輔¹⁾、山水 康平²⁾、成田 道子¹⁾、小嶋富貴子^{1,3)}、葛巻 直子¹⁾、小林 哲也³⁾、
成田 年^{1,4)}
星薬科大学 薬理学教室¹⁾、
NIH, NIA, Developmental Genomics and Aging Section, Laboratory of Genetics, MD, USA²⁾、
公益財団法人日本小動物医療センター³⁾、先端生命科学研究センター (L-StaR)⁴⁾

013-2 食道癌患者におけるがん化学療法に伴う悪心・嘔吐と血中消化管ペプチド濃度との関連性の検討

○佐藤 雄己¹⁾、小野 優子¹⁾、鈴木 陽介¹⁾、柴田 智隆²⁾、野口 剛³⁾、伊東 弘樹¹⁾
大分大学医学部附属病院 薬剤部¹⁾、大分大学医学部附属病院高度救命救急センター²⁾、
大分大学医学部地域医療学センター³⁾

013-3 肝細胞がん患者における体液貯留に対するトルバブタンの効果予測因子の検討

○伊藤 武志、川口 明範、藤原季美子、古川 諭、木寺 康裕、柳江 正嗣、野村 守弘、
山添 譲

近畿大学医学部附属病院 薬剤部

口頭発表14 オピオイド以外の薬物療法および有害事象 3題

10月4日(土) 16:00-16:45 第5会場(愛媛県県民文化会館 3F 第6会議室)

座長: 徳山 尚吾(神戸学院大学 薬学部 臨床薬学研究室)

片山 志郎(日本医科大学付属病院 薬剤部)

014-1 センノシドAの新規瀉下作用メカニズムの解明とその適正使用に関する研究

○五十嵐信智¹⁾、今 理紗子¹⁾、名古屋智香¹⁾、高山 朋子²⁾、町田 昌明³⁾、落合 和¹⁾、
杉田 和幸²⁾、杉山 清¹⁾

星薬科大学 薬動学教室¹⁾、星薬科大学 薬品製造化学教室²⁾、星薬科大学 実務教育研究部門³⁾

014-2 神経障害性疼痛に対するプレガバリン投与における有害事象発症の要因解析

○神林 祐子^{1,2)}、大西 佳子²⁾、細川 豊史²⁾

京都府立医科大学 附属病院 薬剤部¹⁾、京都府立医科大学 附属病院 疼痛緩和医療部²⁾

014-3 当院における終末期がん患者の処方方を再考する～服薬の現状と課題～

○畑 加奈子、向井光一郎、櫻間 啓基、坂本 一貴、羽田野桂史、石炭 兼征、西 正浩、
亀丸 明莉、松井 法子、細瀧喜代志、田宮 貞宏

公立玉名中央病院

口頭発表15 オピオイドに関する症例報告 4題

10月5日(日) 9:15-10:15 第5会場(愛媛県県民文化会館 3F 第6会議室)

座長: 長崎 信浩(福山大学 薬剤部 実務実習支援室)

西迫 多重(益田地域医療センター医師会病院)

015-1 包括的疼痛評価に基づくオピオイドローテーションが奏効した意識障害のある難治性がん性疼痛患者の1例

○代田 礼子¹⁾、吉澤 忍¹⁾、北沢 将人²⁾、山田 武志³⁾、新宮 聖士⁴⁾

飯田市立病院 薬剤科¹⁾、外科²⁾、緩和ケア内科³⁾、乳腺内分泌外科⁴⁾

015-2 フェンタニル貼付剤と他の強オピオイドの併用をおこなった症例の検討

○嶽小原 恵¹⁾、高下 智子¹⁾、杉田 智子²⁾、池永 昌之³⁾

淀川キリスト教病院 薬剤部¹⁾、淀川キリスト教病院 看護部²⁾、

淀川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス病院³⁾

015-3 メサドンへのスイッチングが有効であった骨破壊を伴う肺尖部肺癌の1例

○小尾 芳郎^{1,2)}、宮崎 百合^{2,3)}、藤井 由貴^{1,2)}、佐藤浩太郎³⁾、嶋津 奈^{2,4)}、

小笠原利枝^{2,5)}、黒田 俊也^{1,2,6)}、鵜浦 康司⁷⁾、河崎 勉⁷⁾

横浜市立みなと赤十字病院 緩和ケア内科¹⁾、横浜市立みなと赤十字病院 緩和ケアチーム²⁾、

横浜市立みなと赤十字病院 薬剤部³⁾、横浜市立みなと赤十字病院 精神科⁴⁾、

横浜市立みなと赤十字病院 看護部⁵⁾、深澤りつクリニック⁶⁾、

横浜市立みなと赤十字病院 呼吸器内科⁷⁾

015-4 高用量モルヒネ持続静注よりフェンタニル貼付剤へ短期スイッチし退院した1症例

○岡本 知久、徳山ことみ、中川 淳子、佐藤 知枝、藤本 伸一

独立行政法人 労働者健康福祉機構 岡山労災病院 がんサポートチーム

口頭発表16 オピオイドおよび他の薬物治療に関する症例報告 4題

10月5日(日) 10:15-11:15 第5会場(愛媛県民文化会館 3F 第6会議室)

座長: 矢野 琢也(住友別子病院 薬剤部)
出石 文男(松山大学 薬学部)

O16-1 依存性薬物使用歴のある末期がん患者において、疼痛緩和が難渋した一例報告

○宮尾美佐欣、石倉久美子、松浦 仁志、有田 順子、北田 尚子、松本チサ子、楠本 臣彌、
小槻 典子
社会福祉法人 四天王寺福祉事業団 四天王寺病院 薬局

O16-2 悪性腫瘍による膀胱・直腸刺激症状にガバペンチンが著効した2症例

○田上 恵太^{1,2)}、的場 元弘³⁾、阿部健太郎⁴⁾、三浦 智史¹⁾、蓮尾 英明¹⁾、松本 禎久¹⁾、
元永 伸也⁴⁾、馬場 啓介³⁾、木下 寛也¹⁾
国立がん研究センター東病院 緩和医療科¹⁾、国立がん研究センター中央病院 緩和医療科²⁾、
青森県立中央病院 緩和医療科³⁾、国立がん研究センター東病院 薬剤部⁴⁾

O16-3 腎がんにおけるスニチニブの味覚異常と血清亜鉛値との相関がみられなかった症例

○藤堂 真紀¹⁾、梶川 圭史²⁾、金尾 健人²⁾、全並 賢二²⁾、住友 誠²⁾、松浦 克彦¹⁾
愛知医科大学病院 薬剤部¹⁾、愛知医科大学病院 泌尿器科²⁾

O16-4 オピオイド疼痛コントロール中に、抗がん剤で麻痺性イレウスが生じた一症例

○浦崎 剛¹⁾、城野 修男¹⁾、中辻 優子²⁾、中野 芳明³⁾、松井 薫²⁾
市立貝塚病院 薬剤部¹⁾、市立貝塚病院 内科²⁾、市立貝塚病院 乳腺外科³⁾

口頭発表17 オピオイドの使用状況調査 5題

10月5日(日) 13:30-14:45 第5会場(愛媛県民文化会館 3F 第6会議室)

座長: 小西 洋子(京都府立医科大学附属病院 薬剤部)
相良 英憲(松山大学 薬学部)

O17-1 メサドン鎮痛用量における鎮痛換算比に関する調査

○橋本 直弥、平島 佳代、立松三千子、水谷 旭良
愛知県がんセンター中央病院 薬剤部

O17-2 がん突出痛に対するフェンタニルバツカル錠の使用経験

○山田千代子、米澤 美和、久保 杏奈、虎瀬 和子、柏原 宏暢
石川県立中央病院 薬剤部

O17-3 臨床におけるフェンタニルバツカル錠の有用性の検討

○塚本 泰彦¹⁾、梶山 徹²⁾、倉橋 基尚¹⁾、眞継 賢一¹⁾、上田 浩貴¹⁾、黒岩 勇人¹⁾、
市原しのぶ³⁾、垣見 亮⁴⁾、濱口 良彦¹⁾
関西電力病院 薬剤部¹⁾、関西電力病院 緩和医療科²⁾、関西電力病院 看護部³⁾、
関西電力病院 心療内科⁴⁾

O17-4 携帯型精密輸液ポンプ式PCAの在宅療養における有用性

○西迫 多重¹⁾、宅野真由美³⁾、齋藤貴美子³⁾、藤川ひづる⁴⁾、服部 晋司²⁾
益田地域医療センター医師会病院 薬剤科¹⁾、益田地域医療センター医師会病院 外科²⁾、
益田地域医療センター医師会病院 看護部³⁾、益田地域医療センター医師会病院 臨床工学科⁴⁾

O17-5 当院におけるフェンタニルバツカル錠の導入について

○今枝 洋平¹⁾、秋田 浩子¹⁾、三品 慶高¹⁾、藤本 正夫²⁾、大谷 聡³⁾
岐阜厚生連 東濃厚生病院 薬局¹⁾、岐阜厚生連 東濃厚生病院 内科²⁾、
岐阜厚生連 東濃厚生病院 外科³⁾

口頭発表18 在宅緩和ケア・退院支援 5題

10月5日(日) 13:30-14:45 第6会場(愛媛県県民文化会館 3F 第8会議室)

座長: 伊東 俊雅(東京女子医科大学病院 薬剤部 臨床薬剤管理室)
加藤 久勝(玉造眞鍋薬局)

018-1 予約外受診の頻度減少に寄与できた外来初回オピオイド導入患者への服薬指導体制

○葛谷 真理、高原 悠子、小出 敬子、高木 祐介、野尻 蘭、今井視保子、木全 司、
中村 正史、青山 智彦
名古屋第二赤十字病院 薬剤部

018-2 薬剤師が顔の見える連携に参加する意義

○石元 秀和¹⁾、高木 恭子¹⁾、上松 豊¹⁾、林 美智子¹⁾、藤田 幸子¹⁾、石原 泰子²⁾、
藤井 基弘³⁾、菊田 基¹⁾
トマト薬局¹⁾、倉敷中央病院 薬剤部²⁾、藤井クリニック³⁾

018-3 当院における在宅用PCAポンプの使用状況と問題点

○稲見 正幸^{1,2)}、伊澤 紀子²⁾、小村 賢祥²⁾、羽石 洋子²⁾、田島 敦志³⁾
済生会宇都宮病院 薬剤部¹⁾、済生会宇都宮病院 緩和ケアチーム²⁾、
済生会宇都宮病院 呼吸器外科³⁾

018-4 医療用麻薬(経口薬・貼付薬)の自己管理導入の有用性と課題

○加藤真由美^{1,2)}、康 貴純^{1,2)}、上田 展代¹⁾、中村真佐子^{2,3)}、山本 直美^{2,3)}、小田 道夫^{2,4)}、
佐藤 仁彦⁵⁾、山中 英治⁴⁾
社会医療法人 若弘会 若草第一病院 薬剤部 薬剤課¹⁾、
社会医療法人 若弘会 若草第一病院 緩和ケアチーム²⁾、
社会医療法人 若弘会 若草第一病院 看護部³⁾、
社会医療法人 若弘会 若草第一病院 外科⁴⁾、
社会医療法人 若弘会 若草第一病院 泌尿器科⁵⁾

018-5 医療用麻薬投与におけるPCAディスプレイ携帯型持続注入器の有用性の検討

○伊東 俊雅^{1,4)}、島田 茉季¹⁾、谷口 雅彦¹⁾、川辺桂太郎^{1,4)}、松本 幸恵^{1,4)}、
高橋麻利子^{1,4)}、大野 朋子^{1,4)}、北 麻希子²⁾、中島マリア美智子²⁾、中島 豪²⁾、
高山 敬子^{3,4)}、竹下 信啓²⁾、川上 和之²⁾、兼村 俊範^{2,4)}、林 和彦²⁾、
高橋 賢成¹⁾、木村 利美¹⁾
東京女子医科大学病院薬剤部¹⁾、東京女子医科大学病院化学療法緩和ケア科²⁾、
東京女子医科大学病院消化器内科³⁾、東京女子医科大学病院がんセンター緩和ケア室⁴⁾

口頭発表19 その他調査報告 4題

10月5日(日) 14:45-15:45 第5会場(愛媛県県民文化会館 3F 第6会議室)

座長: 北村 佳久(岡山大学病院 薬剤部)
濱田 政司(独立行政法人 地域医療機能推進機構熊本総合病院)

019-1 肝硬変における体液貯留に対する Tolvaptan の使用経験

○福島 智子¹⁾、瀬名波暢子¹⁾、森田 直¹⁾、小松 絵美¹⁾、谷 大輔¹⁾、辻井 佳代¹⁾、
小平いく子¹⁾、米門 秀行²⁾、喜多 竜一²⁾、大崎 往夫²⁾、小林 政彦¹⁾
大阪赤十字病院 薬剤部¹⁾、同 消化器内科²⁾

019-2 若年の終末期がん患者への関わりー多様な苦痛症状を表出した脂肪肉腫の一例ー

○笠原 庸子^{1,2)}、小原 弘之^{2,3)}、新田 朋子⁴⁾、原垣内里奈^{2,5)}、松本真由子⁵⁾、前田 昌徳¹⁾
県立広島病院 薬剤科¹⁾、県立広島病院 緩和ケアチーム²⁾、県立広島病院 緩和ケア科³⁾、
県立広島病院 臨床腫瘍科⁴⁾、県立広島病院 看護部⁵⁾

019-3 がん化学療法の不安感の有無と実施前後での比較について

○丸山 昌広^{1,4)}、田中 弘美^{2,4)}、夏目 和子^{2,4)}、玉腰 淳子^{3,4)}
新城市民病院 薬局¹⁾、新城市民病院 看護部²⁾、新城市民病院 総合診療科³⁾、
新城市民病院 緩和ケアチーム⁴⁾

019-4 プレガバリンによる副作用の要因解析(第2報)

○橋本 麻央、飛鷹 範明、田中 守、田中 亮裕、荒木 博陽
愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

口頭発表20 院内連携・医療安全・教育 4題

10月5日(日) 14:45-15:45 第6会場(愛媛県県民文化会館 3F 第8会議室)

座長: 八本久仁子((独) 国立病院機構柳井医療センター)
林 武文((独) 国立病院機構高知病院)

020-1 緩和ケアチーム薬剤師と病棟薬剤師の連携についての検討～オピオイド使用患者の情報チェック表を作成して～

○大木 健史¹⁾、朝生 貴史¹⁾、大嵩 隆郎¹⁾、天野 明香¹⁾、尾形 良子²⁾、田中 悦子¹⁾、
朝生 忍³⁾
国保直営総合病院 君津中央病院 医療技術局 薬剤科¹⁾、国保直営総合病院 君津中央病院
看護局²⁾、国保直営総合病院 君津中央病院 医療技術局 次長³⁾

020-2 当院における薬剤科内緩和ケアユニットシステムへの取り組みとその役割について

○矢嶋 美樹、大貫 敏明、安田 麻美、浅井 浩子、高橋 優香、岩佐 典子、杉浦 健一、
藤岡 敬子、畦元 智子、中村 友美、松木 祥彦
医療法人社団協友会 船橋総合病院 薬剤科

020-3 東大宮総合病院における麻薬トラブルの現状調査

○織本 桂、吉田 友和、野間 将太、上原 将史、矢吹 直寛
上尾中央内科グループ 東大宮総合病院 薬剤科

020-4 全国薬科大学・薬学部の緩和医療における卒前教育の実態調査

○岡本 禎晃¹⁾、平井みどり²⁾、細谷 治³⁾、山田 勝士⁴⁾、鈴木 勉⁵⁾、加賀谷 肇⁶⁾
市立芦屋病院¹⁾、神戸大学医学部附属病院²⁾、城西大学³⁾、長崎国際大学⁴⁾、星薬科大学⁵⁾、
明治薬科大学⁶⁾